



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社 朝日工業社
 コード番号 1975 URL <http://www.asahikogyosha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高須 康有
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務本部長 (氏名) 池田 純一
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 03-3432-5711
 平成23年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,044	△22.1	△484	—	△419	—	△292	—
23年3月期第2四半期	35,986	26.1	1,455	—	1,528	807.5	793	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △445百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 432百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△8.92	—
23年3月期第2四半期	24.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	52,082	—	19,428	—	19,428	37.3
23年3月期	60,883	—	20,728	—	20,728	34.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,428百万円 23年3月期 20,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△6.1	2,350	△15.2	2,500	△12.7	1,250	△20.5	38.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	34,000,000 株	23年3月期	34,000,000 株
24年3月期2Q	2,059,167 株	23年3月期	1,056,981 株
24年3月期2Q	32,838,152 株	23年3月期2Q	32,944,822 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	△5.1	2,200	△9.4	2,350	△9.8	1,200	△15.8	37.05

(注) 個別業績予想数値の当四半期における業績予想の修正有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 連結受注高	9
(2) 個別受注高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によりもたらされたサプライチェーンの寸断は復旧を遂げ、生産活動の低下は急速に回復し一時の停滞を脱し回復の途上にあります。しかしながら、円高の進行や海外景気の減速などにより景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連事業の環境は、設備工事業業につきましては、民間設備投資の動きは下げ止まりつつありますが、総じて低調に推移し受注価格競争は一段と厳しい状況で推移いたしました。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、スマートフォンやタブレット端末需要にけん引されて高精細の液晶パネル製造装置を中心に堅調に推移しましたが、パソコン、テレビ向けの液晶関連及び半導体向けの製造装置需要は低調に推移いたしました。

こうした経営環境の下で、当社グループは業績の向上に総力を上げて取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28,044百万円（前年同期比22.1%減少）、営業損失は484百万円、経常損失は419百万円、四半期純損失は292百万円となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

<設備工事業業>

売上高	21,324百万円	(△30.5%)
営業損失	879百万円	(—)

受注高は28,078百万円で前年同期比1.3%の増加となりました。

売上高につきましては、前年度末からの繰越工事の減少と工事進捗率が前年同期より低下し、30.5%の減少となりました。売上高の大幅減少と工事損失引当や工事原価間接費の負担割合上昇により完成工事総利益率は低下し、完成工事総利益は販売費及び一般管理費を吸収できず、前年同期の営業利益から営業損失となりました。

<機器製造販売事業>

売上高	6,719百万円	(26.8%)
営業利益	395百万円	(359.4%)

受注高は5,688百万円で前年同期比1.9%の増加となりました。

売上高につきましては、前年同期に比べ半導体及び液晶向け共に増加し前年同期比26.8%の増加となりました。売上高の増加ならびに売上総利益率の改善もあり、営業利益は大幅に増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が52,082百万円（前年度末比8,801百万円減少）となりました。主な増加は、未成工事支出金799百万円及び立替金や繰延税金資産等のその他流動資産1,028百万円であり、主な減少は、現金預金4,519百万円及び受取手形・完成工事未収入金等の減少5,724百万円です。

負債総額は32,653百万円（前年度末比7,501百万円減少）となりました。主な減少は、支払手形・工事未払金等4,650百万円、未払法人税等1,198百万円及び消費税等のその他流動負債の減少1,179百万円です。

純資産は19,428百万円（前年度末比1,299百万円減少）となりました。これは、配当金の支払494百万円、四半期純損失292百万円、自己株式取得360百万円及びその他有価証券評価差額金の減少148百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の見通しにつきましては、欧州諸国の債務危機を背景に米欧景気の減速など世界経済の変調が懸念されます。また、円高も長期化の様相を呈し企業収益の重荷となりつつあります。当社グループの設備工事業につきましては、国内空洞化による設備投資の減少とこれに伴う厳しい受注価格競争が続くと思われま

す。機器製造販売事業につきましては、上半期同様の状況で推移すると思われま

す。当第2四半期連結累計期間における設備工事業、機器製造販売事業の実績を踏まえ、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	77,500	2,350	2,500	1,250
今回修正予想(B)	72,000	2,350	2,500	1,250
増減額(B-A)	△5,500	—	—	—
増減率(%)	△7.1	—	—	—
前期実績	76,675	2,771	2,864	1,572

受注高につきましては72,000百万円(前回発表予想78,500百万円)を見込んでおります。

(参考) 平成24年3月期の通期個別業績予想

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	76,000	2,200	2,350	1,200
今回修正予想(B)	71,000	2,200	2,350	1,200
増減額(B-A)	△5,000	—	—	—
増減率(%)	△6.6	—	—	—
前期実績	74,846	2,428	2,606	1,425

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,420	9,901
受取手形・完成工事未収入金等	27,937	22,213
製品	441	404
未成工事支出金	934	1,734
仕掛品	1,974	1,911
材料貯蔵品	148	254
その他	2,299	3,328
貸倒引当金	△23	△18
流動資産合計	48,133	39,730
固定資産		
有形固定資産	5,037	4,909
無形固定資産	385	386
投資その他の資産		
投資有価証券	5,293	5,045
その他	2,185	2,145
貸倒引当金	△152	△135
投資その他の資産合計	7,327	7,056
固定資産合計	12,749	12,352
資産合計	60,883	52,082
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	26,078	21,427
短期借入金	3,804	3,704
未払法人税等	1,295	96
未成工事受入金	2,043	2,263
完成工事補償引当金	68	59
工事損失引当金	784	908
役員賞与引当金	55	—
その他	2,855	1,676
流動負債合計	36,984	30,136
固定負債		
長期借入金	480	249
退職給付引当金	2,394	2,049
その他	295	218
固定負債合計	3,169	2,516
負債合計	40,154	32,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	13,323	12,535
自己株式	△377	△737
株主資本合計	20,525	19,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	143
為替換算調整勘定	△88	△92
その他の包括利益累計額合計	203	51
純資産合計	20,728	19,428
負債純資産合計	60,883	52,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	35,986	28,044
売上原価	31,975	25,951
売上総利益	4,010	2,092
販売費及び一般管理費	2,554	2,577
営業利益又は営業損失(△)	1,455	△484
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	88	87
その他	45	25
営業外収益合計	136	117
営業外費用		
支払利息	40	32
その他	22	20
営業外費用合計	63	53
経常利益又は経常損失(△)	1,528	△419
特別利益		
固定資産処分益	4	—
投資有価証券売却益	1	—
貸倒引当金戻入額	3	—
移転補償金	—	12
特別利益合計	9	12
特別損失		
固定資産処分損	2	3
ゴルフ会員権評価損	—	0
減損損失	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5	—
特別損失合計	9	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,528	△411
法人税、住民税及び事業税	539	90
法人税等調整額	195	△209
法人税等合計	734	△118
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	793	△292
四半期純利益又は四半期純損失(△)	793	△292

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	793	△292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△339	△148
為替換算調整勘定	△21	△3
その他の包括利益合計	△360	△152
四半期包括利益	432	△445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432	△445
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設備工事業業	機器製造 販売事業	合計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	30,685	5,301	35,986	—	35,986
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11	—	11	(11)	—
計	30,696	5,301	35,997	(11)	35,986
セグメント利益（注）	1,369	86	1,455	—	1,455

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設備工事業業	機器製造 販売事業	合計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	21,324	6,719	28,044	—	28,044
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2	(2)	—
計	21,327	6,719	28,047	(2)	28,044
セグメント利益又は損失（△）（注）	△879	395	△484	—	△484

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月6日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が360百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は737百万円となっております。

4. 補足情報

(1) 連結受注高

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 平成23年3月期 第2四半期累計期間	当四半期 平成24年3月期 第2四半期累計期間	比 較 増 減	増 減 率
設 備 工 事 事 業	27,723(83.2%)	28,078(83.2%)	355	1.3%
機 器 製 造 販 売 事 業	5,581(16.8%)	5,688(16.8%)	107	1.9%
合 計	33,305(100.0%)	33,767(100.0%)	462	1.4%

(2) 個別受注高

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 平成23年3月期 第2四半期累計期間	当四半期 平成24年3月期 第2四半期累計期間	比 較 増 減	増 減 率
設 備 工 事 事 業	26,586(82.6%)	27,817(83.0%)	1,230	4.6%
機 器 製 造 販 売 事 業	5,581(17.4%)	5,688(17.0%)	107	1.9%
合 計	32,168(100.0%)	33,506(100.0%)	1,338	4.2%